

2022（令和4）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492000466	事業の開始年月日	令和1年9月1日
		指定年月日	令和1年9月1日
法人名	日の出ケア株式会社		
事業所名	グループホームゆとり庵長持		
所在地	(259-1217) 神奈川県平塚市長持441		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和5年1月24日	評価結果 市町村受理日	令和5年5月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

認知症の診断名がある方で、介護が必要な要支援2～要介護5の認定を受けている方が生活している介護施設です。定員は各ユニット9名で合計18名です。全室個室となっております。認知症の病気があって介護が必要であっても、介護士のサポートを受けながら生活することが出来ます。季節を感じて頂くための各種イベントや外出をしており、認知症進行予防に努めております。提携先の診療所から2週間に1度の往診と必要に応じて訪問歯科診療を受けることが出来ます。まずはお気軽にご連絡くださいませ。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和5年2月24日	評価機関 評価決定日	令和5年4月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はJR線「平塚」駅北口から秦野行きバスにて、「長持」バス停下車、徒歩5分にあります。住宅地の一角にある3階建ての2～3階に、2ユニット18名のホームです。1階には同一法人が運営する小規模多機能型居宅介護事業所があります。近隣には熊野神社、お寺、公園、量販店があります。

<優れている点>

事業所の理念（行動指針）を大切に、職員は明るく「笑顔」で活動しています。日々の支援は利用者「寄り添い」、昔と今を繋いでいます。動画配信サービスから、昔の華やかな利用者の思い出を導き出しています。好きなこと、楽しかったこと、思い出の土地などが話題になり、新たな活動を生み出しています。リビング空間は季節に合わせて装飾しています。正月は鳥居の模型や願い事を書いた絵馬をみんなで飾りつけをすることで、コロナ禍により外出が制限している中でも正月気分を味わえるようにしています。屋内レクリエーションに力を注ぎ共に楽しんでいます。レク委員が計画して、西瓜割り、盆踊り、輪投げ、アコーディオン伴奏の懐メロなど多彩なプログラムを運営しています。また、管理者の持つ資格（理学療法士）を活かして「個別機能訓練計画」が新しい試みで、2月から開始されています。

<工夫点>

利用者と居室担当職員が並んだ個性あふれる似顔絵を、イラストの得意な職員が描き、「今月のご様子」の便りの中で家族にも届けています。利用者の笑顔の似顔絵を居室のドアにも飾り、自分の部屋と分かるようにする目的の他、ドアを開けるたびに入居者の心を和ませる作品にもなっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホームゆとり庵長持
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	2023/5/29	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を作成し掲示、共有しています。毎月のフロアごとの会議にてサービスについて確認し、少しずつ実践に繋がっています。	事業所理念（行動指針）は7項目で構成され、最初の1項では「笑顔を絶やさず」としています。日常ケアに利用者を中心に置き、一人ひとりに寄り添いながら、利用者の出すサインを見逃さず、できる能力を活かし、最後の瞬間まで支援すると明記しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で交流は出来ていませんが適宜、地域のゴミ捨て場の掃除をしたり一員として認めて頂けるよう取り組んでいます。	コロナ禍により地域との交流が難しい中でも、出来ることをとの考えを実行に移しています。町会担当者と共に、集積場の清掃に日々参加しながら、地域情報の交換をしています。何気ない会話から困っていた事業所の駐車場を貸して貰える事になるなど、地道なことから交流を深められるよう心がけています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ご家族や関係機関へは随時報告はしておりますが、地域の方々へは出来ておりません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	サービス内容を見直す良い機会となっています。	コロナ禍により、この1年間は書面による会議を開催しています。町内会の副会長が建物オーナーであり、計画、事業所の入居者・介護職員数などをオーナーを通して報告しています。対面が難しい状況ですが、構成委員からの意見や評価を多く受けたいと苦慮しています。	現在は活動報告・計画などを委員へ知らせていますが委員からの意見や評価は得られていません。提供する情報量を一層増やしたり、ヒヤリハットなどを丁寧に掲載して、意見を求めることが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	特に介護保険課、生活福祉課へ状況報告し、アドバイスを頂いております。	平塚市高齢福祉課と社会福祉協議会に相談をしながら、利用者の成年後見人の認定申請を進めています。また、介護保険課には介護保険の更新に向いています。生活福祉課には生活保護者の様子を報告し、生活への助言などを受けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束ゼロの手引き」「身体拘束排除マニュアル」を整備し、毎月の会議で身体拘束防止委員会、虐待防止委員会を実施しております。	毎月のフロア会議の中で身体拘束防止委員会を開いています。身体拘束の状況や範囲から日常の具体的な話し合いをしています。4点柵とL字柵、ベッドと壁の距離などを事例に挙げてマニュアルで確認しながら話し合い、知識を深めています。オムツのボタン止めが気になる人には製品交換の検討もしています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月の会議にて虐待防止委員会を実施しています。接遇面について言葉遣いや態度等、適時指導をしております。	毎月のフロア会議の中で虐待防止委員会を開いています。それぞれの担当委員が会を運営します。テーマは言葉による事例を中心に管理者が説明しています。委員会の内容は申し送りノートに経緯を記載し、情報共有をしています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要に応じて関連機関と連携し、利用者様、家族様へ提案しています。ただ、学ぶ機会については不十分であります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結は必ず説明を行っております。解約時の説明も実施しております。改定等の際は紙面にて報告、納得・理解を図っております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	お電話やメールにてご意見、ご要望を頂いております。毎月お手紙にて各担当者が作成した、「今月のご様子」をお渡ししております。	家族に送る「今月のご様子」は「本人の様子がよくわかる」と好評です。スタッフが描く利用者と担当職員の似顔絵も話題となっています。面談時には本人の行動から「何ができるかを一緒に考えてくれた」と次に繋がる感謝の言葉も貰い、支援にも反映しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月ユニットごとに会議を実施し、話し合っております。直接面談やSNS、電話を通じて随時相談を受けております。半年に1度個別に面談を実施しております。	事前に会議のテーマをスタッフへ周知し、意見を聞いています。SNSを利用し、意見が言いやすいように工夫をしています。職員からの意見により、申し送りノートを利用者の内容と一般の内容を別々に区分することで業務効率が良くなった事例もあります。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課制度があり半期ごとに個別面談があります。管理者は毎月業績報告会議に参加し、運営状況の報告を行っております。法人として職員相談室を設置しております。年に1度、自己申告シート、ストレッチテストを実施しております。	管理者は職員の人事考課を実施し、結果に基づいた個別面談をしています。事業所の業績を毎月まとめ、法人主催の会議に参加して収支などを報告しています。職員相談室は法人にあり、直接電話などで相談できる仕組みとなっています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に内部研修を実施しています。法人外研修はコロナの影響もあり参加出来ておりません。	法人の教育・研修課は管理職の資格取得の奨励や受講費用の支援を行っています。事業所では年間研修計画を立て職員の内外研修を支えています。いずれの研修も職員のサービスの専門性向上やスキルアップを下支えしています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	今年度は中止が多く参加出来ておりません。電話やメールにて情報交換しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	管理者が利用者様入居前にご本人、ご家族、関係機関からアセスメントし、職員と情報共有するようしております。また、入居後特に早期は環境変化に伴う混乱が生じやすいため、気がかけて声掛け、傾聴するよう心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居前に話し合いの場を持たせて頂き、ご入居後も電話やメールにて連絡を取り合っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	当施設ご入所に該当しない場合は他サービスのご提案をしております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	台所仕事や洗濯物たたみや掃除など利用者様が出来るところはやって頂くようにしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人との会話の中にご家族のお名前を出すようにしてご家族との良好な関係が保てるよう意識しております。現在はご遠慮いただいている面会も平時は推奨しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族、ご親戚、ご友人から連絡があった際はご本人と共有し、可能であれば直接会話して頂いております。趣味など好きなことは入所後も出来るだけ継続して頂くようサポートしております。	入居時の基本情報やアセスメントの情報に加えて、動画配信サービスによる昔の映像から、情報を積み上げています。昔の映画、歌謡ショー、相撲、お笑い劇場の鑑賞などで、利用者のさまざまな反応や言葉から、今の日常支援にそれらを重ねて支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お席の配置変更を適宜実施し、スタッフが間に入ることで利用者様同士の良好な関係が築けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も状況に応じたサポート、アドバイスをしております。退所後に再入所された実績がございます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前アセスメントや入所後の生活の中でご本人の思いを傾聴するように心がけております。	入居時の大きな環境の変化により、不安になる気持ちを受け止め、ゆっくり向き合いながら入居者の思いや希望の把握に努めています。「個別の申し送りノート」を作り職員間で情報の共有をしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前アセスメント時にご本人、ご家族から伺い、アセスメントシートやミーティングを通じてスタッフと共有しております。また往診医など関係機関とも共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の中で随時確認し、介護方法について変更しております。必要に応じて提携の在宅診療所や訪問看護ステーションと共有し指示頂きます。また月に1度の会議にて利用者様の状態について話し合い、介護方法を見直しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	適時見直しを実施し、計画を作成しております。	本人や家族の思いや希望を聞き、ケアプランを作成しています。毎月のフロア会議にて、一人ひとりの課題やケアの方向について話し合い、プランに反映させています。入居者の体調の急変や家族の要望の変化に応じて、見直しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録システムを用いパソコン、タブレットにて記載するとともに、日報、申し送りノートを活用し情報共有しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	柔軟に対応できるよう、ご本人、ご家族の意向を大切に心がけております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	医療、介護に関する事業所の把握と連携はさせて頂いていますが、それ以外の地域資源の把握が不十分ですので調べていきます。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	毎週、協力医療機関から内科の医師、歯科医師に往診頂いております。また訪問看護ステーションの看護師に健康管理で毎週訪問頂いております。協力医とは24時間連絡が可能です。	事業所の協力医療機関をかかりつけ医にしています。毎月2回の訪問診療があり事前に体調をFAXで報告または相談するなど連携しています。家族には「毎月のご様子」の便りで、受診内容などの報告をしています。他科への受診は、紹介状により家族と相談の上行います。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	提携先の訪問看護ステーションに毎週訪問頂いております。訪問前日に利用者様の現状を報告しています。訪問看護ステーションから主治医に報告し連携頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に管理者が入院先の医療ソーシャルワーカーと随時情報共有し、必要に応じてカンファレンスに参加しています。ご家族、主治医とも適時話し合っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族、主治医、看護師、当施設職員参加の話し合いの場を設けております。診療所と訪問看護ステーションのご協力を頂き、ご本人、ご家族のご希望に応じてお看取りもさせて頂いております。	終末期になると、主治医より家族に病状について説明しています。事業所の看取りについての話し合いをしています。入居者の「最期までホームで過ごしたい」という思いを受け止め、主治医、家族、看護、介護と連携し、チームで支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアル整備はしており、事故防止委員会の設置もごさいますが、実技の研修等が不十分です。今後企画開催していきたいと考えています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	出来るところから取り組んではおりますが、不十分であります。今後充実させていきたいと思っております。	コロナ禍の為、計画していた避難訓練の実施には至っていません。今後、消防署の協力で避難訓練を予定しています。河川に近い事業所のため、水害時の避難場所は、事業所の3階にしています。災害に備え、30人分の水と食料やカセットコンロなどを備蓄しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇面に留意するとともに上手くいったケア方法について共有するようにしております。	親しいがゆえの、利用者への不適切な言葉遣いには、その都度注意しています。事例としてフロア会議で話し合い、職員に周知しています。一人ひとりの人格を尊重し、入居者に合わせた言葉使いを共有し、普段から気持ちよく過ごせるよう心がけています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中でご本人の希望を傾聴するようにしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日の流れはある程度決まっていますが、利用者様の体調やご希望に合わせた柔軟な対応を心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自身の好きな服を着て頂いています。ご希望に応じてお化粧のサポートをすることもあります。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に1度のケーキ作り、調理レクリエーション、季節ごとのイベントを実施しております。利用者様が出来る範囲で準備や片づけをして頂いております。	食事は、毎日宅配業者から配達される湯煎食を提供しています。毎月1回の「調理レク」では、利用者の希望を聞き、煮魚、いなり寿司、麺類などを調理しています。職員が店員になり、メニューから好きなものを注文する「ゆとり庵喫茶」を共に楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食の水分・食事量を確認し必要に応じて主治医へ報告・相談しております。嗜好、健康状態に応じた配慮を実施しております。食事形態として普通食、キザミ食、トロミ食、ミキサー食、ゼリー食を提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施しており、必要に応じて訪問歯科へ報告・相談させて頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご本人の言動や行動、様子を伺い、適時トイレへご案内しております。成功例をこまめに職員間で共有するよう意識しております。	排泄表を作り、一人ひとりの排泄のパターンを把握して、声掛けしています。排便状況を確認し、個々に応じた対応でお腹の調子を整えるよう支援しています。夜間のみ、居室にポータブルトイレを利用する人もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	適時主治医と相談し対応しております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	体調やご希望に合わせて入浴日・時間変更をしております。入浴は一人お一人マンツーマンで、必要に応じて介助者を増やして支援しております。	週に2回、夏には3回入浴しています。「入浴が面倒で、気が進まない」と入浴を拒む人には、言葉かけを工夫したり人や時間を変更して試みしています。職員と1対1でゆったり、くつろげるよう努めています。移動式の、リフトの設備があります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様の状況に応じて休息、睡眠をとって頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方変更に対応できるよう職員間での連携を密にしています。服薬後の経過を適時主治医へ報告しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	趣味などの好きなことを出来る限り続けて頂けるよう支援します。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	今年度はコロナ禍にて中止していましたが、次年度以降は状況をみながら再開していきたいと思っております。	コロナ禍では、毎月「レク委員」による室内で楽しめる行事を行っています。夏には、スイカ割りや盆踊り輪投げ、かき氷などを実施し四季を感じられるような工夫をしています。懐メロを歌って楽しめるようにアコーディオンが得意な職員が生の伴奏しています。外出の再開を待ち望んでいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お小遣いとして施設で保管しております。必要に応じて使用頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	実施しております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日の清掃を実施し清潔に心がけております。また季節ごとの展示物など利用者様と一っしょに作成しております。居室はその人らしく過ごせるように自由にレイアウト頂いております。	フロア全体が見渡せるキッチンでは利用者の様子を見守ることができています。正月には初詣気分を味わえるように職員と一緒に神社の鳥居を作り、願い事を書いた絵馬を壁に飾っています。体の傾きを調整する肘掛けクッションや床の足置きなど、その人に合わせた小物を配置するなどの工夫もしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	集団生活の中で利用者様同士の相性を考慮し、その都度お席の変更やレイアウト変更を行っております。広くはありませんがお一人になれる場所を確保できるように努めています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	基本的には利用者様のお好きのように配置頂いております。但し、病状の進行等によってはご家族と相談し配置変更頂く場合もあります。	自宅から、馴染みのダンス、いす、仏壇などを持ち込んでいます。それぞれの居室は自宅の延長として捉え、時には、使い慣れたダンスから、洋服を出したり、たたんだりの繰り返しをしながら過ごす人もいます。その人らしく暮らせるよう支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	適時、福祉用具を準備し、「出来ること」を維持頂けるように努めております。		

事業所名	グループホームゆとり庵長持
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	2023/5/29	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を作成し掲示、共有しています。毎月のフロアごとの会議にてサービスについて確認し、少しずつ実践に繋がっています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で交流は出来ませんが適宜、地域のゴミ捨て場の掃除をしたり一員として認めて頂けるよう取り組んでいます。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ご家族や関係機関へは随時報告はしておりますが、地域の方々へは出来ておりません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	サービス内容を見直す良い機会となっています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	特に介護保険課、生活福祉課へ状況報告し、アドバイスを頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束ゼロの手引き」「身体拘束排除マニュアル」を整備し、毎月の会議で身体拘束防止委員会、虐待防止委員会を実施しております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月の会議にて虐待防止委員会を実施しています。接遇面について言葉遣いや態度等、適時指導をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要に応じて関連機関と連携し、利用者様、家族様へ提案しています。ただ、学ぶ機会については不十分であります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結は必ず説明を行っております。解約時の説明も実施しております。改定等の際は紙面にて報告、納得・理解を図っております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	お電話やメールにてご意見、ご要望を頂いております。毎月お手紙にて各担当者が作成した、「今月のご様子」をお渡ししております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月ユニットごとに会議を実施し、話し合っております。直接面談やSNS、電話を通じて随時相談を受けております。半年に1度個別に面談を実施しております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課制度があり半期ごとに個別面談があります。管理者は毎月業績報告会議に参加し、運営状況の報告を行っております。法人として職員相談室を設置しております。年に1度、自己申告シート、ストレッチテストを実施しております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に内部研修を実施しています。法人外研修はコロナの影響もあり参加出来ておりません。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	今年度は中止が多く参加出来ておりません。電話やメールにて情報交換しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	管理者が利用者様入居前にご本人、ご家族、関係機関からアセスメントし、職員と情報共有するようにしております。また、入居後特に早期は環境変化に伴う混乱が生じやすいため、気がかけて声掛け、傾聴するよう心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居前に話し合いの場を持たせて頂き、ご入居後も電話やメールにて連絡を取り合っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	当施設ご入所に該当しない場合は他サービスのご提案をしております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	台所仕事や洗濯物たたみや掃除など利用者が出来るところはやって頂くようにしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人との会話の中にご家族のお名前を出すようにしてご家族との良好な関係が保てるよう意識しております。現在はご遠慮いただいている面会も平時は推奨しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族、ご親戚、ご友人から連絡があった際はご本人と共有し、可能であれば直接会話して頂いています。趣味など好きなことは入所後も出来るだけ継続して頂くようサポートしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お席の配置変更を適宜実施し、スタッフが間に入ることで利用者様同士の良好な関係が築けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も状況に応じたサポート、アドバイスをしております。退所後に再入所された実績がございます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前アセスメントや入所後の生活の中でご本人の思いを傾聴するように心がけております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前アセスメント時にご本人、ご家族から伺い、アセスメントシートやミーティングを通じてスタッフと共有しております。また往診医など関係機関とも共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の中で随時確認し、介護方法について変更しております。必要に応じて提携の在宅診療所や訪問看護ステーションと共有し指示頂きます。また月に1度の会議にて利用者様の状態について話し合い、介護方法を見直しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	適時見直しを実施し、計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録システムを用いパソコン、タブレットにて記載するとともに、日報、申し送りノートを活用し情報共有しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	柔軟に対応できるよう、ご本人、ご家族の意向を大切に心がけております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	医療、介護に関する事業所の把握と連携はさせて頂いていますが、それ以外の地域資源の把握が不十分ですので調べていきます。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	毎週、協力医療機関から内科の医師、歯科医師に往診頂いております。また訪問看護ステーションの看護師に健康管理で毎週訪問頂いております。協力医とは24時間連絡が可能です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	提携先の訪問看護ステーションに毎週訪問頂いております。訪問日前日に利用者様の現状を報告しています。訪問看護ステーションから主治医に報告し連携頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に管理者が入院先の医療ソーシャルワーカーと随時情報共有し、必要に応じてカンファレンスに参加しています。ご家族、主治医とも適時話し合っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族、主治医、看護師、当施設職員参加の話し合いの場を設けております。診療所と訪問看護ステーションのご協力を頂き、ご本人、ご家族のご希望に応じてお看取りもさせて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアル整備はしており、事故防止委員会の設置もごございますが、実技の研修等が不十分です。今後企画開催していきたいと考えています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	出来るところから取り組んではおりますが、不十分であります。今後充実させていきたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇面に留意するとともに上手くいったケア方法について共有するようにしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中でご本人の希望を傾聴するようにしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日の流れはある程度決まっていますが、利用者様の体調やご希望に合わせた柔軟な対応を心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自身の好きな服を着て頂いています。ご希望に応じてお化粧のサポートをすることもあります。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に1度のケーキ作り、調理レクリエーション、季節ごとのイベントを実施しております。利用者様が出来る範囲で準備や片づけをして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食の水分・食事量を確認し必要に応じて主治医へ報告・相談しております。嗜好、健康状態に応じた配慮を実施しております。食事形態として普通食、キザミ食、トロミ食、ミキサー食、ゼリー食を提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施しており、必要に応じて訪問歯科へ報告・相談させて頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご本人の言動や行動、様子を伺い、適時トイレへご案内しております。成功例をこまめに職員間で共有するよう意識しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	適時主治医と相談し対応しております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	体調やご希望に合わせて入浴日・時間変更をしております。入浴は一人お一人マンツーマンで、必要に応じて介助者を増やして支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様の状況に応じて休息、睡眠をとって頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方変更に対応できるよう職員間での連携を密にしています。服薬後の経過を適時主治医へ報告しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	趣味などの好きなことを出来る限り続けて頂けるよう支援します。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	今年度はコロナ禍にて中止していましたが、次年度以降は状況をみながら再開していきたいと思っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お小遣いとして施設で保管しております。必要に応じて使用頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	実施しております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日の清掃を実施し清潔に心がけております。また季節ごとの展示物など利用者様と一っしょに作成しております。居室はその人らしく過ごせるように自由にレイアウト頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	集団生活の中で利用者様同士の相性を考慮し、その都度お席の変更やレイアウト変更を行っております。広くはありませんがお一人になれる場所を確保できるように努めています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	基本的には利用者様のお好きなように配置頂いております。但し、病状の進行等によってはご家族と相談し配置変更頂く場合もあります。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	適時、福祉用具を準備し、「出来ること」を維持頂けるように努めております。		

2022年度

事業所名 グループホームゆとり庵長持
作成日：2023年5月1日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が書面報告となっており、構成委員からの意見や評価を頂く機会が減っている。	運営推進会議を通じて意見や評価を頂けるよう状況に応じて取り組む。	・情報量を増やす ・意見を頂きやすい工夫をする（アンケートなど）	6ヶ月
2	5・6	身体拘束・虐待防止により一層取り組むことが必要とされている。	身体拘束・虐待防止のために、身体拘束・虐待につながるような要因を早い段階で防ぐ。	・委員会の継続開催 ・施設内研修	12ヶ月
3	13	職員教育において研修内容が不十分である。	研修内容の充実	・研修項目の見直し ・施設内研修の資料内容修正	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月